

1 教育・保育に係る量の見込み及びその提供体制の確保方策

※参考資料1 参照

需要量	供給量		供給量と需要量の差 (供給量－需要量)	
計画値(①)	実績値(②)	計画値(③)	実績値(②－①)	計画値(③－①)
38,106 (39,844)	41,908	45,543	3,802 (供給計画より▲ 3,635)	7,437

※計画値は令和元年度に「第2期みやざき子ども・子育て応援プラン」策定した時点での令和6年度計画値

◆供給量は、全体では計画需要量を上回ったものの、2号では計画需要量(18,503人)よりも実績供給量(18,216人)が下回っていることから、適切な需給調整が行われるよう市町村に働きかけていく。

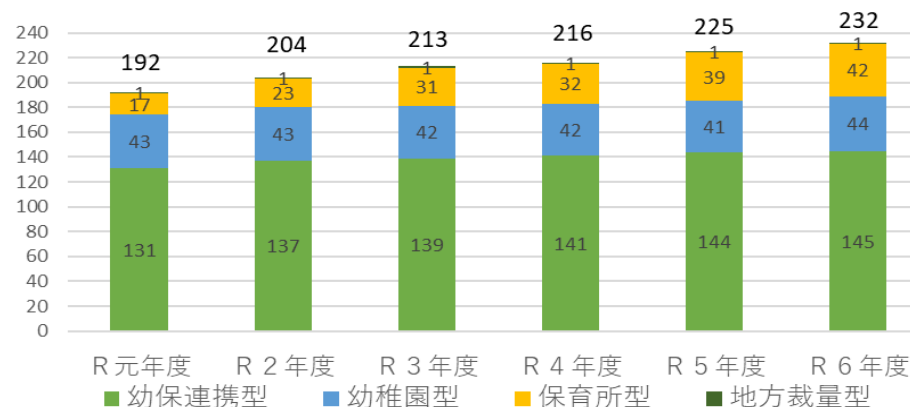
2 子ども・子育て支援給付に係る教育・保育の一体的提供
(認定こども園数)

※参考資料2 参照

R 6 年度	計画値	実績値				
認定こども園 数	2 3 0	2 3 2	幼保連携 型	幼稚園型	保育所型	地方裁 量型
			1 4 5	4 4	4 2	1
(参考)R 7. 4. 1 現在		2 5 5	1 5 4	4 6	5 4	1

◆認定こども園への移行支援のため、施設整備事業の活用や保育教諭確保のための有資格者確保、研修の充実といった取組を行った。今後も移行は進む見込みである。

施設類型別認定こども園数の推移



3 教育・保育施設等に従事する者についての需給状況

※参考資料3 参照

需要推計の方法		保育教諭		保育士		幼稚園教諭	
※「需給」とは、供給量と需要量の差。	現状	【供給】 2,372		【供給】 3,768		【供給】 867	
運営上、必ず配置しなければならない職員数に基づく需給(ア)	需要	1,708	+664	2,487	+1,281	168	+699
幼児教育・保育の質の向上を図る取組を一部実施する場合に配置が必要な職員数に基づく需給(イ)	需要	1,756	+616	2,541	+1,227	191	+676
幼児教育・保育の質の向上を図る取組を全て実施する場合に配置が必要な職員数に基づく需給(ウ)	需要	1,872	+500	2,700	+1,068	210	+657

◆各職種において、利用児童数に基づき算定した需要量を上回る供給を確保することができている。今後も従事者の確保に向けた取組を継続する。

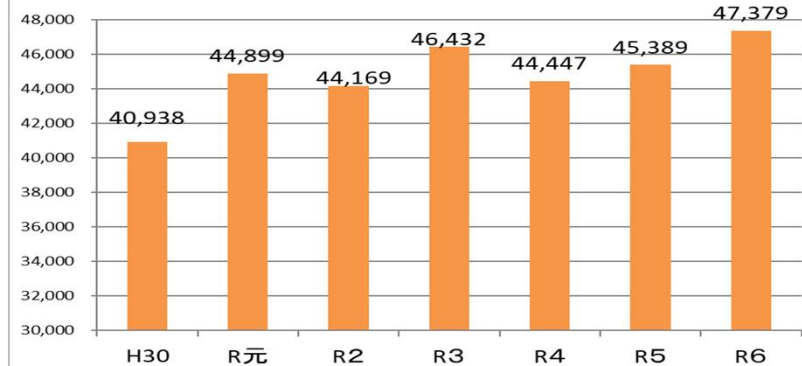
4 主な施策について

◆子育て関連施策の事業費(実績)については、ここ数年450億円前後で推移。

※参考資料4 参照

	総事業数	事業費(千円)
R5年度 (実績)	212	45,388,456
R6年度 (実績)	218	47,378,435

子育て関連施策総額(百万円)

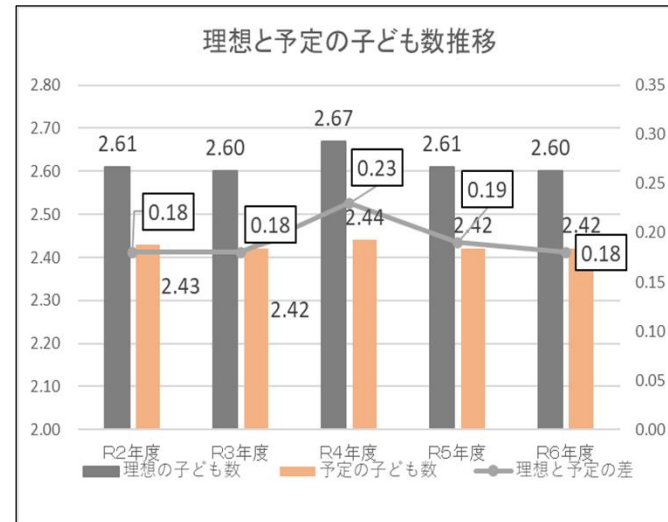


5 総合成果指標(全2指標)

※参考資料5 参照

成果指標	実績	最終目標(R6)
合計特殊出生率	1.43	1.84
平均理想子ども数と平均予定子ども数の差	0.18	0.18

◆合計特殊出生率は、1.43で全国3位と、全国上位は維持しているものの、前年より0.06ポイント減と過去最低。
◆平均理想子ども数と平均予定子ども数の差については0.18(2.6人-2.42人)と達成。



6 個別成果指標(全42指標)

※参考資料5 参照

成果指標	達した指標	達成しなかった指標	未確定(R7.8)
目標の到達状況	11	24	7

○達した指標(主なもの)

・保育所等の待機児童数(目標0人、実績0人) ・仕事と生活の両立応援宣言企業数の登録数(目標1,676件、実績1,720件)

○達成しなかった指標(主なもの)

・育児休業取得率(目標:男性25%、女性100%、実績:男性55%、女性98.2%) ・ひなたの出会い・子育て応援運動参加団体数(目標480団体、実績446団体)